

ラスターベクター混在ハイブリッドCADシステム

VP HybridCAD / VP map シリーズ

SCAN to CAD / SCAN to GIS

VPシリーズは、社内図面や支給図面からのCAD/GIS運用、あるいはデータベース登録等、図面/ドキュメントの電子化に関連する業務の効率化、お悩み事を解決する様々なソリューションソフトウェア群をラインアップしております。



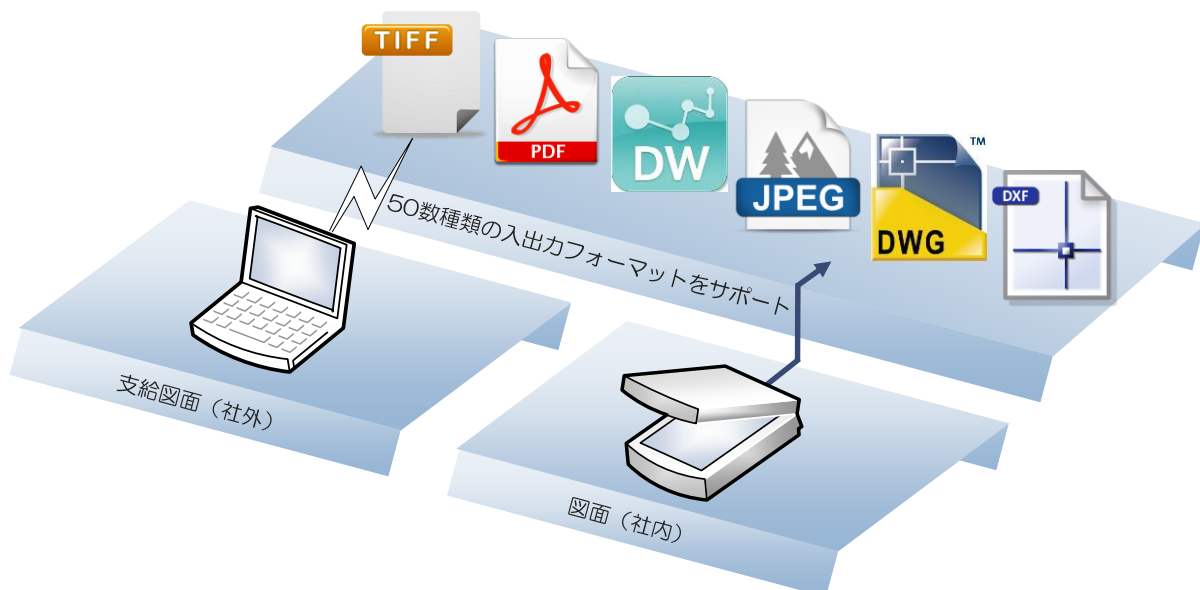
スキャンされた各種図面等を、CADと同様の感覚で思いのままに編集加工が行えます。高速且つ高精度のベクター化機能を持っておりますので、図面を最大限に有効活用したCADシステムが構築できます。

※VP HybridCADシリーズはWindowsスタンドアロン、AutoCAD®プラグイン、BricsCAD®プラグイン環境でご使用いただけます。



VP HybridCADシリーズの全機能を網羅した上で、更にGIS/FMの基図作成に適したコマンド群を搭載したアプリケーションです。VP mapシリーズにて作成した図形要素に対して任意の属性情報を付与することができます。作成されたデータは.shp形式や.dxf形式、.dwg形式等でGISシステムへ受け渡すことができます。

※VP mapシリーズはWindowsスタンドアロン、AutoCAD®プラグイン、BricsCAD®プラグイン環境でご使用いただけます。

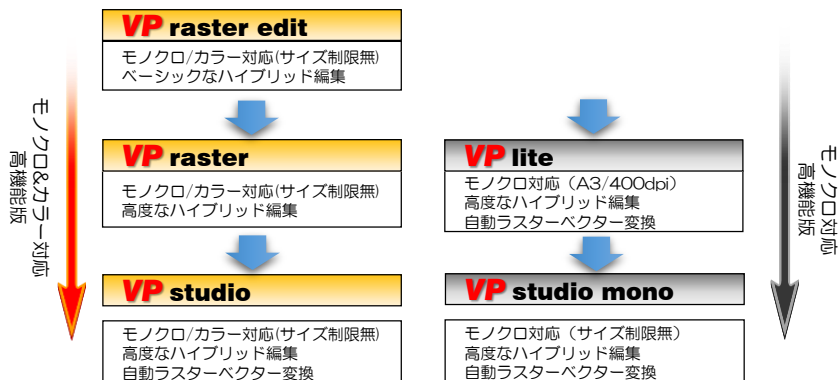


VPHybridCADシリーズ / VPmapシリーズ 概要

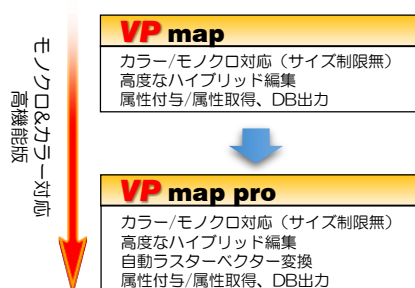
VPHybridCADシリーズは、スキャンした図面あるいはPDF等の支給データの品質を向上させるだけでなく、CAD編集と同様の感覚でラスターデータを操作し、効率的に図面作成が行える高機能なハイブリッドCADアプリケーションです。更にVPmapシリーズは、VPHybridCADシリーズの機能に加えて、様々な属性情報を付与/取得し、各種データベース形式で出力することができるDB機能付きハイブリッドCADアプリケーションです。

- ✓ 3つのプラットフォームをサポートしております。[Windowsスタンドアロン、AutoCAD®プラグイン、BricsCAD®プラグイン]
- ✓ VPHybridCADシリーズは、用途に合わせて5製品をラインアップしております。[VPstudio/VPstudio mono/VPlite/VPraster/VPraster edit]
- ✓ VPmapシリーズは、用途に合わせて2製品をラインアップしております。[VPmap pro/VPmap]
- ✓ TIF、PDF、XDWをはじめとして50数種類におよぶ豊富な入出力フォーマットをサポートしております。

VPHybridCADシリーズ ラインナップ

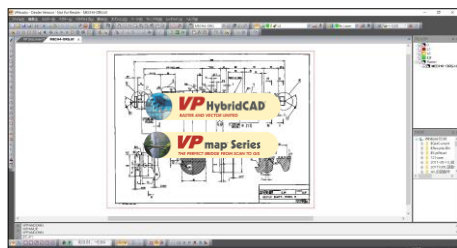


VPmapシリーズ ラインナップ

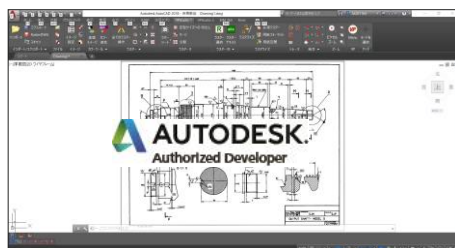


AutoCAD® / BricsCAD®プラグイン環境のサポート ※ラスターベクター混在CADシステム

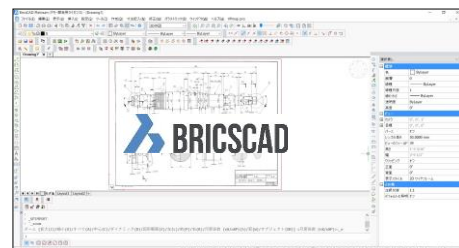
VPHybridCADシリーズ/VPmapシリーズは、Windows上でスタンドアロン・アプリケーションとしてのご使用に加えて、AutoCAD®プラグイン、BricsCAD®プラグインの3つのプラットフォームでご利用いただけます。社内の過去図面や支給図面・支給データ(PDF等)を再度CADで作成し直すことなく、スムーズに設計業務に入っていただくことが可能となります。



Windowsスタンドアロン



AutoCAD®プラグイン



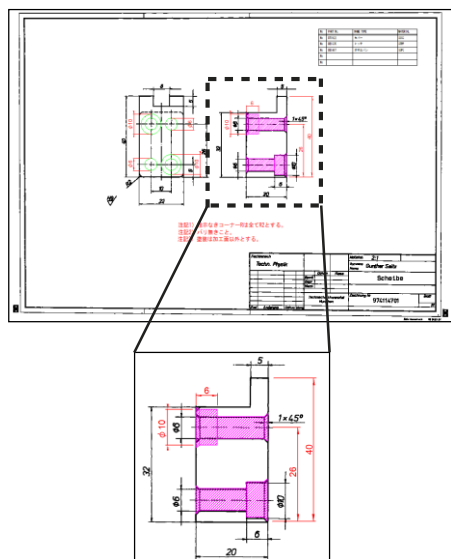
BricsCAD®プラグイン

各種分野におけるハイブリッド図面作成例

※ハイブリッド図面 → ラスターベクター混在図面

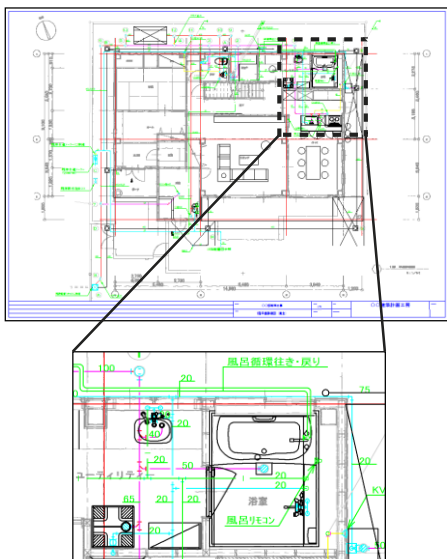
[製造業における図面改修]

スケール調整後の機械図面上に設計変更や加工指示等を作図し、ハイブリッド図面を作成



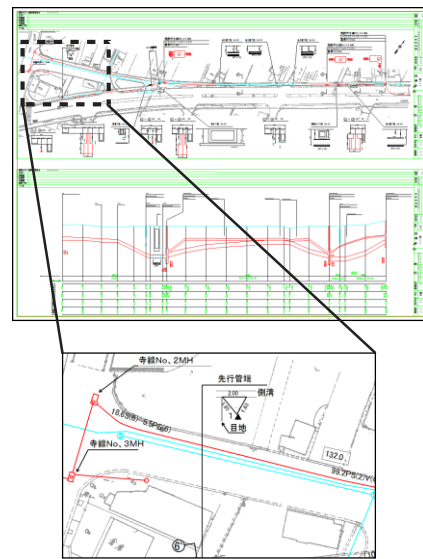
[設備業における設備設計]

スケール調整後の躯体図上に設備図や改修設計等を作図し、ハイブリッド図面を作成



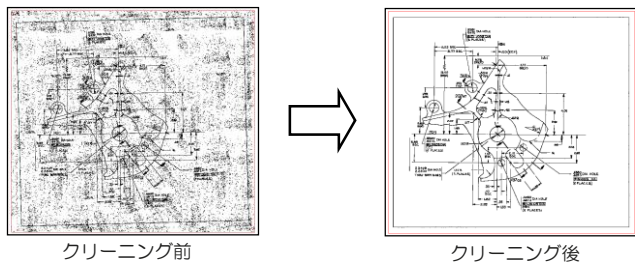
[建設業における各種設計]

スケール調整後の平面図上に各種詳細設計等を作図し、ハイブリッド図面を作成



VPHybridCADシリーズ / VPmapシリーズ 機能

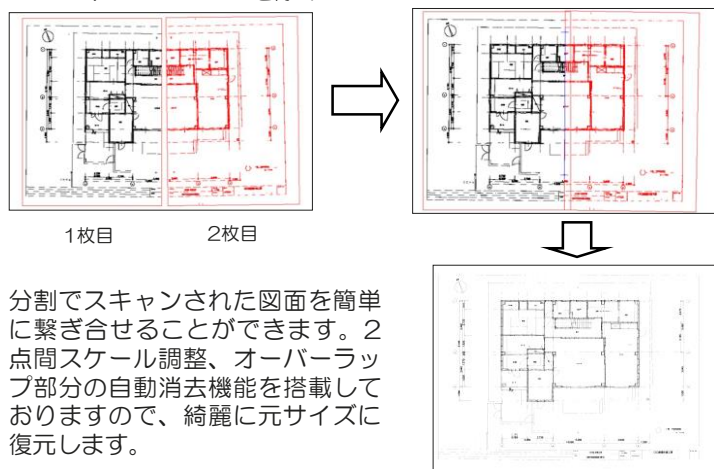
ラスタークリーニング機能



ゴミ除去、傾き補正、回転等の処理を高速に行うことができます。また、ボタン1つでゴミ除去/傾き補正が実行可能な自動クリーンアップ機能も搭載しております。

簡単マージ機能

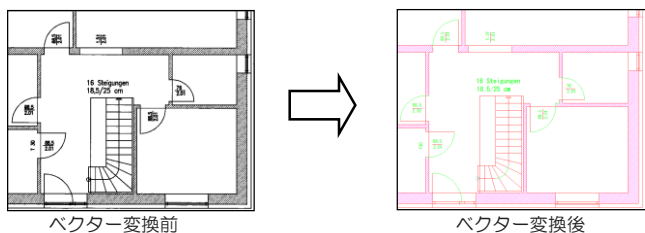
※VPlite、VPraster editを除く



分割でスキャンされた図面を簡単に繋ぎ合せることができます。2点間スケール調整、オーバーラップ部分の自動消去機能を搭載しておりますので、綺麗に元サイズに復元します。

強力なラスターベクター変換機能

※VPraster、VPraster edit、VPmapを除く

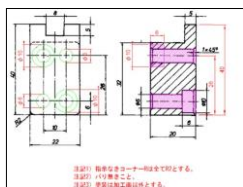


高精度且つ超高速の変換スピードを実現した最先端のベクター変換アルゴリズムを搭載しております。ラスターは最適なベクター要素に自動変換されます。また英数字に対する文字認識(OCR)も標準搭載しております。
※日本語OCRオプションは別オプションとして搭載可能となっております。

汎用CAD作図機能

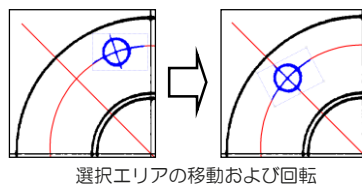
※1

標準的なCAD作図(ライン、円、円弧、テキスト等)に加えて、面取り、フィレット、寸法線やブロック図形、ハッチング等の豊富な汎用CAD作図機能を使用して簡単なCAD追記を行うことができます。 .dwg、.dxfデータを取り込むことで、既存のCADデータを流用しながら効率良く改修図面等を作成することが可能となります。 ※1 スタンドアロン版として使用時

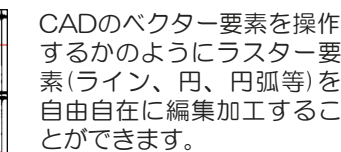


CADライクなダイレクトラスター編集機能

※VPraster editを除く



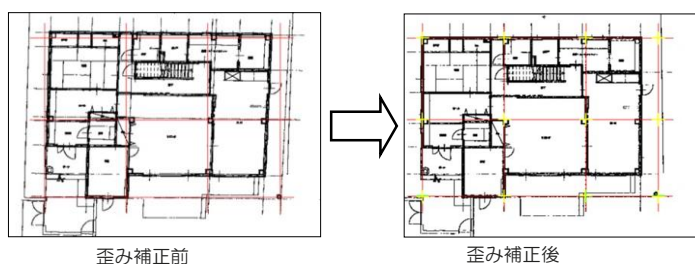
ダイレクトラスター選択時には自動的にラスター交点が認識されます。これによりラスターとは思えないほど簡単に修正作業が行えます。



ダイレクトラスター選択によるエンティティ修正

高精度な多点ラバーシート補正機能

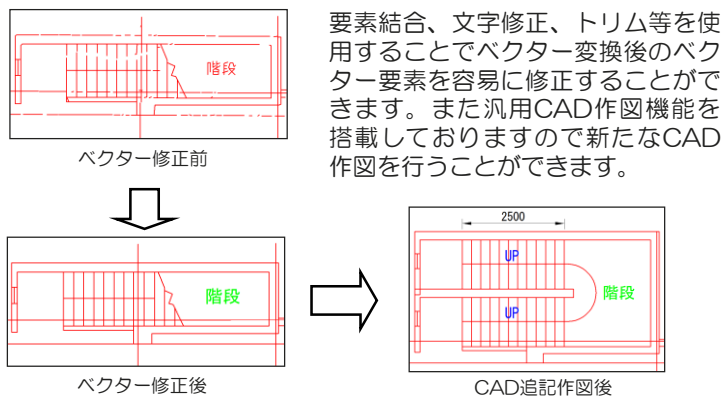
※VPraster editを除く



ポイント無制限のラバーシート補正により図面の伸縮や湾曲歪みをゴムを引き延ばすような感覚で原寸座標に補正します。またグリッド指定、任意ポイント指定、ベクター参照指定等の豊富なポイント指定オプションを搭載しています。これにより迅速且つ容易に補正元・補正先のポイント指定が行えます。

豊富なベクター修正機能

※VPraster editを除く



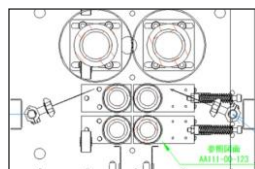
要素結合、文字修正、トリム等を使用することでベクター変換後のベクター要素を容易に修正することができます。また汎用CAD作図機能を搭載しておりますので新たなCAD作図を行うことができます。

ベクターPDFサポート

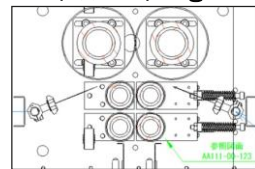
※2

PDF形式にはスキャンにより作成されたラスターPDFと、CADソフトから直接出力されたベクターPDF、ラスターベクター混在PDFがあります。VPシリーズはこれらのPDF形式をサポートしております。
※2 一部のPDF形式あるいはパスワード付きPDF形式の場合は正常に開くことができない場合があります。

Vector PDF



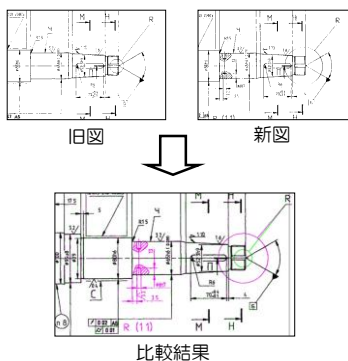
.dxf or .dwg



VPHybridCADシリーズ / VPmapシリーズ 機能

差分比較機能

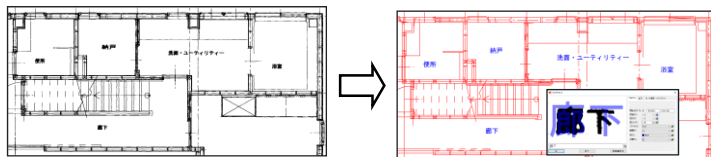
※VPlite、VPraster editを除く



新旧図面を比較し、差分（削除や追記された箇所）をハイライト表示します。移動・2点合わせ・3点合わせ機能により、図面間の伸縮補正を施して差分を検出することができます。更にレッドライン機能で差分箇所をマークアップすることもできます。
※左図の色の付いた部分が差分です。緑色の部分は1枚目のみ、紫色の部分は2枚目のみにある図形です。

日本語OCRオプション

※VPraster editを除く



別売の日本語OCRオプションを使用することで日本語文字認識(OCR)が行えます。ラスターテキストコマンドではイメージ内の日本語文字を高精度で認識し、正確なベクターテキストあるいはラスターテキストに置き換えることができます。
※イメージの品質によっては良好なOCR結果が得られない場合があります。

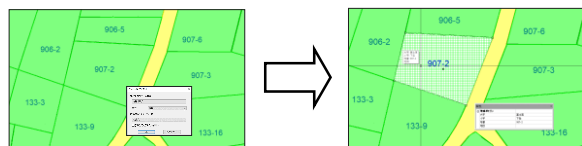
VPmapシリーズのみの機能

属性定義



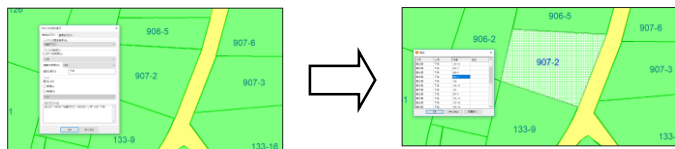
画層に対して任意の属性項目を作成することができます。また各属性項目に対しては初期値の設定やデータベースフィールドのデータ型の定義、リスト登録等の登録ルールの定義等の詳細設定を専門的な知識を必要とせずに行うことができます。

属性付与、テキストを属性として自動付与



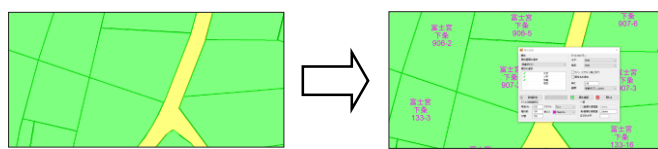
作成した要素に対して属性情報を与えることができます。また予めOCR等を使用して作成したベクターテキストの文字列情報をそのまま指定の属性項目の属性値として自動的に付与することができます。

属性検索



属性検索を使用することで、既に属性が付与されている図形要素を一括抽出することができます。どんなでも簡単に検索条件をセットすることができ、抽出された個々の図形要素に対して属性情報の確認/修正等が行えます。属性入力時は、対象の図形要素がズームアップされますので属性入力作業が大幅に軽減されます。

ラベル付与



属性情報は指定した画層へラベル（表記文字）として表示することができます。ラベルに対する詳細（画層、文字色、文字高さ等）を設定することができ、このラベル情報は.dwg/.dxf形式等で出力することができます。

運用例：公図からのGISベースマップ作成

下図は公図からGISのベースマップを作成するまでの一例です。一連の流れは、①公図のロード及び座標付け/ラバーシート補正、②地番文字のOCR認識、③区画線のベクター化、④地番ポリゴンの生成、⑤地番ポリゴンへの属性割当、⑥ラベル付け(表記文字)、⑦SHP出力となります。



運用例：建築平面図から面積を取得

建築平面図から面積情報を取得し、csv形式で面積等の各種情報を出力することができます。

	A	B
1	フロア名	面積 (㎡)
2	リビング	24.00㎡
3	洋室1	22.00㎡
4	洋室2	10.00㎡
5	洋室3	9.20㎡
6	和室	10.50㎡
7	押入	4.00㎡
8	ホール	13.50㎡

運用例：各種シンボルの拾い出し

スキャン図面上に属性付きシンボル図形を配置することで設備機器等の名称や個数等の拾い出しを行うことができます。

	A	B	C
1	蛍光灯名	メーカー	型式
2	一般用照明	〇〇社	FL40X2 3
3	一般用照明	〇〇社	FL40X2 3
4	一般用照明	〇〇社	FL40X2 3
5	一般用照明	〇〇社	FL40X2 3
6	一般用照明	〇〇社	FL110X1
7	一般用照明	〇〇社	FL110X1
8	一般用照明	〇〇社	FL110X1
9	一般用照明	〇〇社	FL110X1
10	一般用照明	〇〇社	FL110X1

VPHybridCAD / VPmapシリーズ仕様一覧

VPstudio
VPraster
VPraster edit
VPstudio mono
VPlite
VPmap pro
VPmap

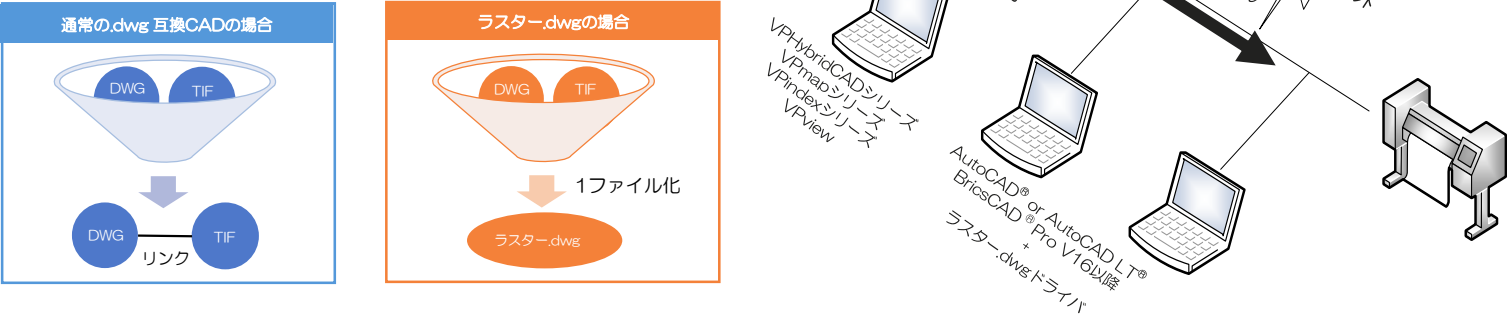
VPHybridCADシリーズ					VPmapシリーズ		
対応フォーマットサイズ							
サイズ制限無し	■	■	■	■		■	■
最大A3サイズ / 300dpi (16,000 x 16,000ピクセル、最大3,600万ピクセル)					■		
入カフォーマット (※1)							
ラスターデータ：TIF(非圧縮、G3、G4、LZW、Packbits、Multi-Page)、CALS—G4、PDF(Multi-Page)、Intergraph(CRL、RLE、CIT)、GTx Raster、RLC、PCX、BMP、JPG、GIF、XDW(Multi-Page) (※2) ベクターデータ：.dxf、.dwg、.dwt、DGN、HPGL/2、PDF (Multi-Page) (※3) ハイブリッドデータ：RVD(Softelec format)、VCF、CGM、ラスター.dwg、PDF(Multi-Page) (※3)	■	■	■	■	■	■	■
GISデータ：RVD(Softelec format)、SHP/e00/GEN(ESRI®)、MIF/MID(MapInfo®)、DGN						■	■
出カフォーマット (※1)							
ラスターデータ：TIF(非圧縮、G3、G4、LZW、Packbits、Multi-Page)、PDF(Multi-Page)、NIF、RLC、CALS—G4、Intergraph(CRL、RLE、CIT)、PCX、BMP、JPG、GIF、XDW(Multi-Page) (※2) ベクターデータ：.dxf、.dwg、DGN、IGES ハイブリッドデータ：RVD(Softelec format)、ラスター.dwg、CGM、SVG、PDF(Multi-Page) (※3)	■	■	■	■	■	■	■
GISデータ：RVD(Softelec format)、SHP/AEP(ESRI®)、MIF/MID(MapInfo®)、DGN						■	■
全製品で使用可能な機能							
ラスタークリーンアップ（ゴミ除去、傾き補正、回転、切り出し等）	■	■	■	■	■	■	■
ベーシックなラスター編集（矩形/多角形エリア指定による削除/移動/コピー等）	■	■	■	■	■	■	■
汎用CAD作図、印刷、マルチページサポート（※スタンドアロン版のみ）	■	■	■	■	■	■	■
ハイブリッド編集機能							
高度なラスター編集（ダイレクトラスター選択、豊富なエリア指定による削除/移動/コピー等）	■	■		■	■	■	■
ラバーシート補正（多点歪み補正）	■	■		■	■	■	■
文字置換：英数字OCR（標準搭載）、日本語OCR（別売オプション）	■	■		■	■	■	■
ラスター変形（細線化、太線化、開く、閉じる）	■	■		■	■	■	■
ベクター修正（要素結合、トリム、文字修正）	■	■		■	■	■	■
ラスター合成/ラスター分割	■	■		■		■	■
ラスター画層分離（ラスターシンボルの大きさによる）	■	■		■		■	■
寸法線作図	■	■		■		■	■
ラスターテーブル(表)認識	■	■		■		■	■
カラー/グレースケールデータ処理							
パレット変換（S-ガンマ補正、ステップ、コントラスト）、2値化、カラー減色、色分類	■	■				■	■
自動ラスター/ベクター変換							
ライン/円/円弧変換、ポリライン変換、アウトライン変換、画層割り当て、シンボル認識等	■			■	■	■	
トレース機能							
CADトレース（ライン、円、円弧）、対話型トレース機能（ポリライン、スプライン）	■	■		■	■	■	■
カラーラスタートレース	■	■				■	■
閉ポリゴン/閉ポリライントレース、等高線への自動高さ割り当て						■	■
GIS機能							
属性付与、属性描画、属性出力：SHP属性/CSV/SIMA/ODBC						■	■
ベクタークリーンアップ（トポロジー構造を作成し、ポリゴンを自動生成）属性文字自動取得						■	■
その他の機能							
ラスターライズ機能	■	■		■	■	■	■
差分機能（図面比較）	■	■		■		■	■
カスタマイズ機能（ユーザーコマンド/スタンプ機能）	■	■		■		■	■
レッドライン機能（マークアップ&注釈） ※スタンドアロン版のみ	■	■		■		■	■
パッチ処理機能	■	■		■		■	■
動作環境							
対応OS：Windows7(32bit/64bit)、8/8.1(32bit/64bit)、10(32bit/64bit) ※Microsoft .NET Framework4.0が必要となります。	■	■	■	■	■	■	■
プラグイン可能CAD：AutoCAD® 2010以降、BricsCAD® Pro V18以降	■	■	■	■	■	■	■
ライセンス管理							
USBキーによるライセンス管理 ※ 1ライセンスからネットワークライセンスとして利用可能	■	■	■	■	■	■	■

※1 上記の他、入出力フォーマットは別途お問い合わせ下さい。 ※2 富士ゼロックス社製DocuworksV7.0以降が同一PCにインストールされている必要があります。 XDWのアノテーション機能はサポートしていません。
※3 ご使用になるPDFのバージョンによっては、一部正常に処理されない場合があります。

ラスター.dwgファイルとは

通常、.dwg互換CADでラスターアタッチされた図面を保存した場合、.dwgファイルのヘッダーにアタッチされたラスターファイルのパス情報が記述され、結果として2つ以上のファイル(.dwgファイルとラスターファイル)が保存されます。従って、図面を管理する時に、この2つ以上のファイルを同時に管理する必要があります。VPソフトウェアのラスター.dwgファイルでは、.dwgファイルの内部にラスターデータを同時に格納して、1ファイル化されたラスター.dwgファイルとして管理・運用が行えます。

ラスター.dwgファイルを利用することで、社内や社外でデータ共有を行う際にパス情報が切れてしまったためにあるはずのラスターファイルが無くなってしまふ等の問題を解消することができます。



VPHybridCAD / VPmapシリーズ 動作環境

VPHybridCAD / VPmapシリーズ動作環境
OS : Windows 7 (32bit/64bit), 8/8.1 (32bit/64bit) , 10 (32bit/64bit)
サポートCAD : StandAlone、AutoCAD®2010以降、BricsCAD® Pro V18以降
※Microsoft .NET Framework4.0が必要となります。
ライセンス管理 : USBハードウェアロックキーによるライセンス管理 ※ 1ライセンスからネットワークライセンスとして利用可能
ラスター.dwgドライバ（無償提供）の動作環境 ※ 1ファイル化されたラスター.dwgファイルを下記の環境で開き、追記修正、印刷が行えるドライバです。
AutoCAD® 2000 (i) 以降、AutoCAD LT® 2002以降、BricsCAD® Pro V16 以降
※その他OS等の環境はAutoCAD®, AutoCAD LT®, BricsCAD®の動作環境に準ずる。

定価表

VPHybridCADシリーズ定価	定価 (円)	年間バージョンアップ保守	定価 (円)
VPstudio	880,000	VPstudio年間保守	180,000
VPstudio mono	680,000	VPstudio mono年間保守	147,000
VPraster	400,000	VPraster年間保守	120,000
VPlite	320,000	VPlite年間保守	99,000
VPraster edit	180,000	VPraster edit年間保守	48,000
日本語OCRオプション	98,000	日本語OCRオプション年間保守	18,000

VPmapシリーズ定価	定価 (円)	年間バージョンアップ保守	定価 (円)
VPmap pro	980,000	VPmap pro年間保守	198,000
VPmap	580,000	VPmap年間保守	138,000
日本語OCRオプション	98,000	日本語OCRオプション年間保守	18,000

※ 製品単体の単価（税抜き）です。

※ VPHybridCAD/VPmap/VPindexシリーズは、1台目からネットワーク環境でご使用いただけます。

※ 複数台ご使用になられる場合は、台数ディスカウントが適用されます。別途お問い合わせください。

※ 契約日から1年間の間にバージョンアップした場合に、新バージョンをお届けする保守契約です。

※ 複数台ご使用になられる場合は、上記単価×台数のご契約となります。

※ 保守契約ご加入は、製品ご購入から1ヵ月以内、もしくは新バージョンへのバージョンアップ時から、1ヵ月以内とします。

販売元



Digital e-Tech Corporation
http://www.d-eteach.co.jp
Always Ahead

株式会社デジタル・イーテック
〒418-0114 静岡県富士宮市下条627番地の1
TEL:(0544) 58-0900 FAX:(0544) 58-0904
e-mail: vpinfo@d-eteach.co.jp
http://www.d-eteach.co.jp

開発元



お問い合わせは下記販売店へ